

小規模企業景況調査(島根県企業) 簡易版

「平成24年度第3四半期：調査」

全国商工会連合会集計データによる分析

<調査概要>

調査対象：島根県下10商工会（出雲隠岐 6 石見 4） 企業（出雲隠岐 90 石見 60）

調査時点：平成24年10月、11月、12月

調査方法：対象企業へ個別協力要請、経営指導員による直接配布回収。企業に自記または聞き取り

<産業全体>

・業況の推移

県下業況はDI値（景気動向指数：前年同期比）は、全体でマイナス39.3（前期比プラス1.9ポイント）で若干であるが改善した。産業別では、製造業ではマイナス11.6（同プラス7.6ポイント）、建設業はマイナス18.2（同プラス11.8ポイント）、小売業ではマイナス34.8（同マイナス4.3ポイント）、サービス業はマイナス37.5（同マイナス8.9ポイント）で製造業、建設業については改善であったが、小売業、サービス業については悪化であった。来期の見通しでは、サービス業については改善予測だが、他は悪化という予測である。

・売上高と採算性の推移

県下商工会地区全業種平均のDIは、売上でマイナス38.7（前期比マイナス8.5ポイント）で、島根県全域では悪化傾向で、石見地域だけで見ると横ばいであった。また採算は、マイナス26.0（同プラス1.5ポイント）で全体では改善傾向、石見地域では悪化であった。

<製造業>

製造業のDIは、売上でマイナス7.7（前期比プラス23.1ポイント）、資金繰りDIはマイナス19.3（同プラス11.5ポイント）と改善しているが、採算DIはマイナス15.4（同マイナス3.9ポイント）と悪化の状況であった。来期（平成25年1月～3月）の見通しは、資金繰りのみ改善すると予測している。経営上の問題は「需要の停滞」が極めて大きく、「生産設備の不足・老朽化」や「製品（加工）単価の低下、上昇難」が続いている。

<建設業>

建設業のDIは、売上はマイナス18.1（同マイナス8.5ポイント）で悪化しているが、採算はマイナス18.2（同プラス15.1ポイント）、資金繰りはマイナス13.7（同プラス14.9ポイント）と改善している。来期（平成25年1月～3月）の見通しは、売上、採算、資金繰り、業況ともに悪化すると予測している。経営上の問題としては「官公・民間の需要停滞」が極めて高く、「請負単価の低下・上昇難」や「熟練技術者の確保難」が上位に位置づけられている。

<小売業>

小売業のDIは、売上でマイナス50.0（前期比マイナス8.7ポイント）と半数以上の事業所が悪化したと回答があった。採算でマイナス28.2（同プラス2.2ポイント）と改善しているものの、資金繰りではマイナス37.0（前期比マイナス8.7ポイント）とマイナス幅は依然として大きい。来期（平成25年1月～3月）の見通しは、さらに悪化すると予測しており、小売業の厳しい現状が見られる。経営上の問題として「需要の停滞」が最も大きく、「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズ変化」が上位に位置づけられている。

<サービス業>

サービス業のDIは、資金繰りはマイナス19.6（同プラス10.7ポイント）で改善しているが、売上ではマイナス51.8（前期比マイナス14.2ポイント）と小売業と同じく、半数以上の事業所が悪化したと回答があった。来期（平成25年1月～3月）の見通しは、売上については改善すると予測している。経営上の問題としては「需要の停滞」が極めて高く、「利用者ニーズの変化」「店舗施設の狭隘・老朽化」などが上位を占めている。

業種	産業全体			出雲・隠岐（全体）			石見（全体）		
	7～9月	10～12月	前期比	7～9月	10～12月	前期比	7～9月	10～12月	前期比
売上	▲ 30.2	▲ 38.7	▲ 8.5	▲ 30.3	▲ 44.4	▲ 14.1	▲ 30.0	▲ 30.0	0.0
採算	▲ 27.5	▲ 26.0	1.5	▲ 27.0	▲ 22.2	4.8	▲ 28.3	▲ 31.7	▲ 3.4
資金繰り	-	-	-	-	-	-	-	-	-
業況	-	-	-	-	-	-	-	-	-

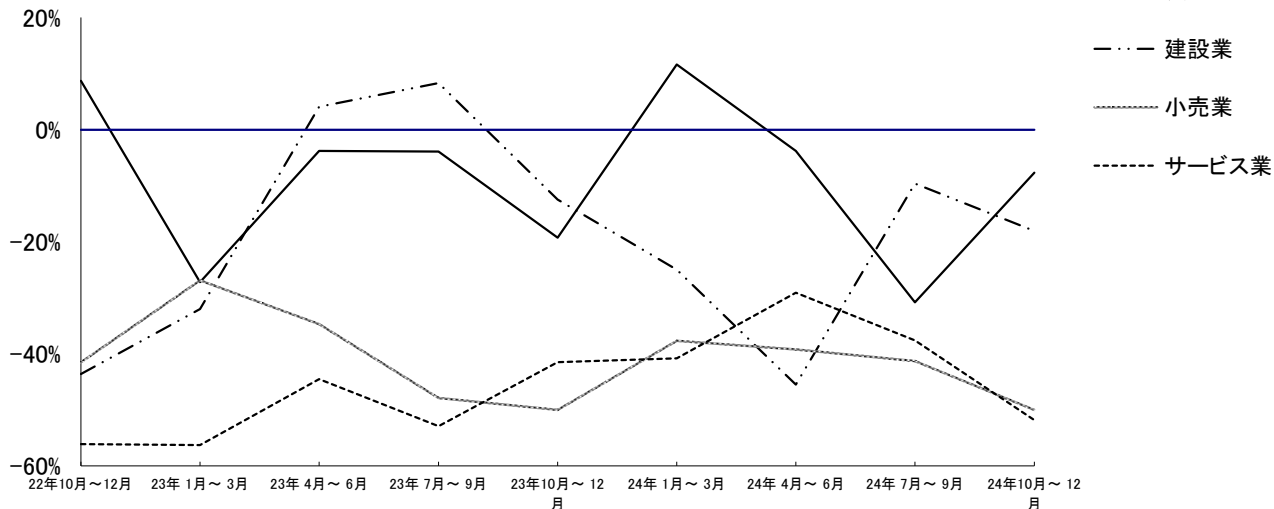
業種	製造業			建設業			小売業		
	7～9月	10～12月	前期比	7～9月	10～12月	前期比	7～9月	10～12月	前期比
売上	▲ 30.8	▲ 7.7	23.1	▲ 9.6	▲ 18.1	▲ 8.5	▲ 41.3	▲ 50.0	▲ 8.7
採算	▲ 11.5	▲ 15.4	▲ 3.9	▲ 33.3	▲ 18.2	15.1	▲ 30.4	▲ 28.2	2.2
資金繰り	▲ 30.8	▲ 19.3	11.5	▲ 28.6	▲ 13.7	14.9	▲ 28.3	▲ 37.0	▲ 8.7
業況	▲ 19.2	▲ 11.6	7.6	▲ 30.0	▲ 18.2	11.8	▲ 30.5	▲ 34.8	▲ 4.3

《来期見通し》

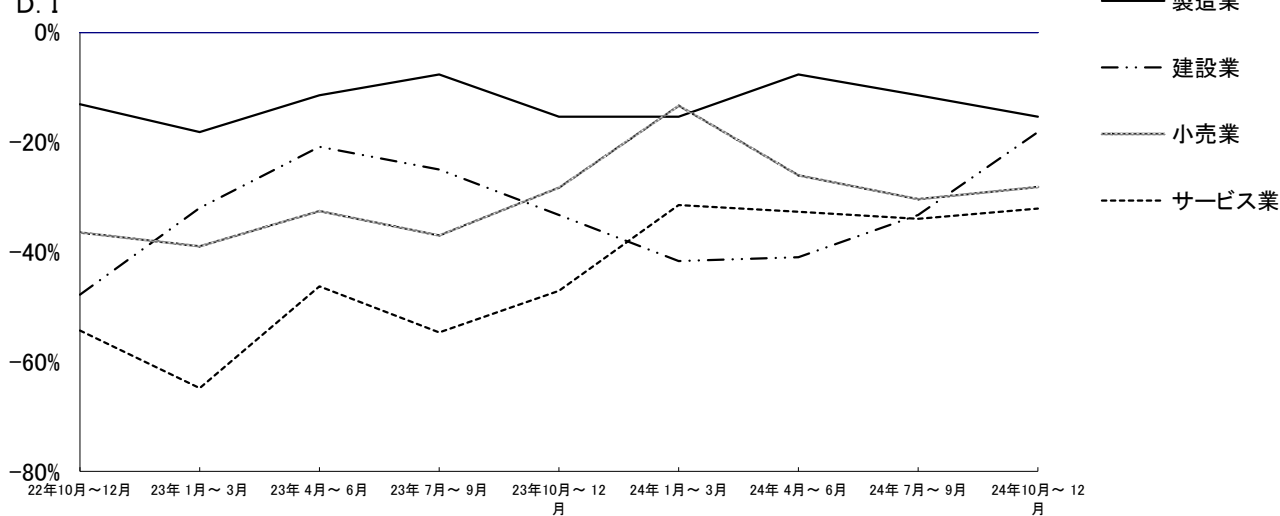
業種	サービス業			業種	製造業	建設業	小売業	サービス業
	7～9月	10～12月	前期比		H25/1～3月	H25/1～3月	H25/1～3月	H25/1～3月
売上	▲ 37.6	▲ 51.8	▲ 14.2		▲ 11.5	▲ 31.9	▲ 52.2	▲ 41.1
採算	▲ 34.0	▲ 32.1	1.9		▲ 19.2	▲ 31.8	▲ 30.4	▲ 32.1
資金繰り	▲ 30.3	▲ 19.6	10.7		▲ 11.6	▲ 18.2	▲ 37.0	▲ 21.4
業況	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 8.9		▲ 15.4	▲ 22.8	▲ 35.6	▲ 35.7

※[DI値]とは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての「増加(上昇・好転・長期化)」企業割合と「減少(低下・悪化・短期化)」企業割合の差を示すものである。

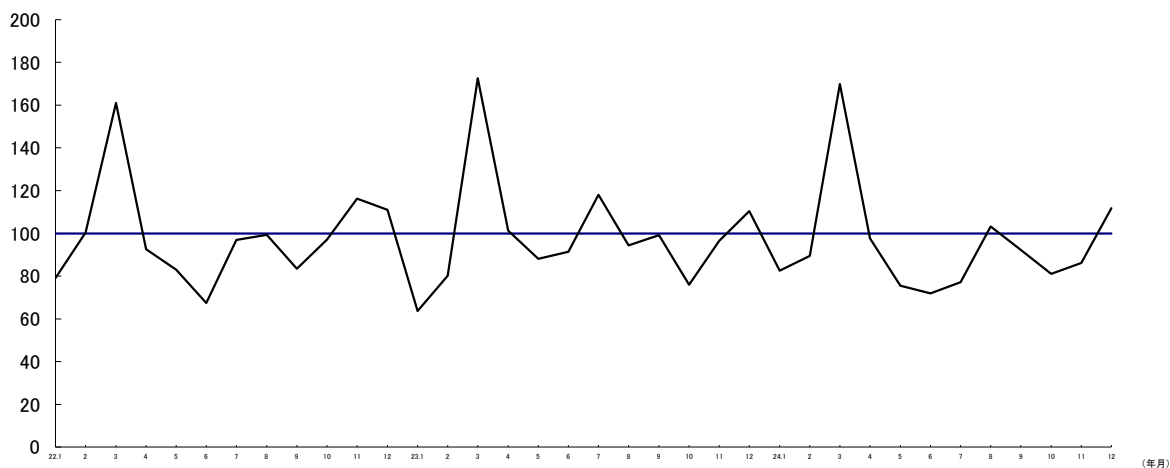
島根県 全産業
D. I 売上(完成工事)額の推移—前年同期比—



島根県 全産業
D. I 採算の推移—前年同期比—



島根県 全産業
売上額推移(月別指数)



54年7月~55年6月 = 100.0 (8213.00 千円)